

# 平成20年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査得点状況

## 1 受検者数及び教科別得点状況

受検者数	平均点					
	国語	社会	数学	理科	英語	得点の合計
8,667 (8,890)	29.2 (29.8)	29.7 (26.7)	24.6 (26.1)	27.1 (29.9)	23.0 (24.0)	133.7 (136.6)
最 高 点	49 (48)	50 (50)	50 (50)	48 (50)	50 (50)	232 (239)
最 低 点	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

注1 全教科を受検した者について集計したものである。

2 各教科とも50点満点、「得点の合計」は250点満点である。

3 ( )内の数値は、昨年度のものである。

## 2 「得点の合計」の分布状況

得点範囲	人 数	割 合 (%)
241 ~ 250	0	0.0
231 ~ 240	3	0.0
221 ~ 230	24	0.3
211 ~ 220	123	1.4
201 ~ 210	317	3.7
191 ~ 200	486	5.6
181 ~ 190	612	7.1
171 ~ 180	640	7.4
161 ~ 170	686	7.9
151 ~ 160	614	7.1
141 ~ 150	607	7.0
131 ~ 140	637	7.3
121 ~ 130	594	6.9
111 ~ 120	580	6.7
101 ~ 110	557	6.4
91 ~ 100	483	5.6
81 ~ 90	410	4.7
71 ~ 80	358	4.1
61 ~ 70	306	3.5
51 ~ 60	271	3.1
41 ~ 50	165	1.9
31 ~ 40	113	1.3
21 ~ 30	61	0.7
11 ~ 20	16	0.2
0 ~ 10	4	0.0
合 計	8,667	100.0
最 高 点	232	
最 低 点	0	

注 割合は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。

## 1 出題の概要

平成20年度の学力検査の出題については、中学校教育の発展と充実に資するよう、学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を見る問題をより重視した。
- 受検生の興味や関心などが生かされるよう、例年どおり全教科にわたり選択問題を  
出題した。

## 2 結果の総評

各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れていた。しかし、身の回りの事象について、基礎的・基本的な事項を活用し、筋道を立てて考え、課題を解決する力をみる問題については、さらに努力が必要な状況であった。

学習に対する興味・関心や有用感をもつとともに、知識・技能を活用して、課題を見だし解決する力を身に付けるよう、学習内容と生活場面・実社会とのつながりを考えながら学習することが大切である。

### (1) 国語

- 基本的な語彙力を問う問題など、基礎的・基本的な事項の理解をみる問題については、平素の学習の成果が表れており、全体的に良好な結果であった。
- 文脈における語句の意味を正確に理解し、内容を適切に読み取って答える問題については、おおむね良好であった。
- 古文及び漢文に関して、主語等を把握し、展開を的確に読み取る問題については、いま一歩であった。

#### 【今後の学習に向けて】

さまざまな活動を通して、言語に関する基礎的・基本的な事項について、文脈に即してその意味や用法を理解するとともに、文章の内容を的確に読み取る力、及び聞き取った内容や自分の考えをわかりやすく表現する力など、国語に関する総合的な力を身に付けることが、一層望まれる。

### (2) 社会

- 地理・歴史・公民の各分野とも、基礎的・基本的な事項の理解をみる問題については、平素の学習の成果が表れており、よくできていた。
- 地図、統計等の資料を読み取ったり、読み取った内容をもとに図をかいたりする問題については、おおむねできていた。
- 社会的事象の背景等について考察し、その内容を適切な文で表現する力をみる問題については、いま一歩であった。

#### 【今後の学習に向けて】

社会に対する関心を高め、主体的に課題を追究する意欲や態度を養うとともに、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、適切に表現する力を身に付けることが、一層望まれる。

### (3) 数 学

- 基礎的・基本的な計算技能の習得や数学的な概念の理解に関する問題については、よくできていた。
- 具体的な事象を通して数学的な見方や考え方をみる問題において、事象を数学的に考察する力が必ずしも十分とはいえない面もあった。
- 論理的に考え正確に表現したり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、いま一步であった。

#### 【今後の学習に向けて】

基礎的・基本的な内容についての学習を中心にしながらも、日常の事象に関連付け、数学的な見方や考え方のよさを知り、多様な学習活動を通して、論理的な思考力、直観力、表現力等を身に付けることが、一層望まれる。

### (4) 理 科

- 自然の事物・現象における基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れており、良好であった。
- 観察、実験の結果について考察し、表現する力をみる問題については、おおむね良好であった。
- 身近な自然現象について、それが起こる仕組みや規則性を理解し考察したり、予想を立てて科学的に調べたりする力をみる問題については、いま一步であった。

#### 【今後の学習に向けて】

自然や身近な現象に対する関心を高め、目的意識をもって主体的で意欲的な観察、実験を行い、科学的に調べる能力・態度を養うとともに、得られた結果について考察し、表現する力を身に付けることが、一層望まれる。

### (5) 英 語

- ネイティブ・スピーカーによる日常的な対話を聞いて、内容の要点を把握する力をみる問題については良好であったが、聞き取った情報を書き取ったり、話しかけに対して適切に応答したりする問題については十分とはいえない面もみられた。
- 身近な事柄を話題にした文章を読んで、文脈を理解し前後の流れにふさわしい英文を選ぶ基本的な問題については、おおむね良好であった。
- 内容を読み取り、場面や状況にふさわしい英語を表現する能力をみる問題については、基礎的・基本的な知識を運用できていないところもみられ、いま一步であった。

#### 【今後の学習に向けて】

英語による対話をしたり、やや長い英文を読んだりするなどして、話の概要や要点を理解する能力を養うとともに、具体的な場面や状況に応じて、自分で考え、判断し、積極的に英語で表現する能力を身に付けることが、一層望まれる。